

ばんけい

教育ほんといっしょ

かわら版

こみち
教育の小径 No.128

2019 June

6月号



(一財)総合初等教育研究所参与

北 俊夫先生



今月のことば

うじ そだ
氏より育ち

育て方の大切さを言ったものです。「氏」とは家の格式のことです。人間の成長には、家柄のよさより、その人を取り巻く環境や教育が大きな影響を及ぼします。

「指名計画」とは何か

- 「指名計画」とは、教師が授業の場で誰を指名するかを計画することです。指名の仕方によって授業の質が大きく変わります。
- 「指名計画」は、授業の流れである「導入・展開・まとめ」のそれぞれの場面によって異なります。指名は授業の進行と一体に行われますから、教師の授業力が問われます。

今月の
記念日踏切の日
(6月23日)

6月は梅雨の時期であり、雨が多いため、踏切での事故が発生しやすいといえます。「ふ(2)み(3)きり」の語呂合わせから、毎月23日が「踏切の日」です。

「指名計画」とは何か

教師は子どもに発言を促すとき「指名する」という行為を行い、子どもたちに発言の機会を与えています。指名は授業の質を大きく左右します。

指名の仕方によっては、意見の違いが明確になり、授業が盛り上がる場合があります。逆に、多くの発言が出されても、それらが羅列的であると、平板な授業になってしまうこともあります。指名はその時間のねらいを実現させるための、教師に課せられた重要な行為です。指名は一人一人の子どもをよく理解している担任教師にこそできる「特権」だと考えます。

指名の仕方は授業者によってさまざまです。指名の仕方から授業者の授業観や児童観が見えてきます。授業をどのように展開しようとしているのか。授業でどのような子どもを育てようとしているのかをある程度察することができます。「たかが指名ですが、されど指名」だと言えます。

授業者には、授業のねらいの実現を目指して、学びを深まりのあるものになりたいという願いと意図があります。

「指名計画」という言葉を耳にしたことはありますか。指名計画とは、授業の場で指名する子どもを事前に計画

しておくことです。教師の発問に対して、子どもをできるだけ意図的、計画的に指名するためのものです。思いつきやただ機械的に指名することではありません。

学習の流れと「指名計画」

1 単位時間の学習は基本的に、「導入・展開・まとめ」の過程で展開されます。指名計画のあり方についてもこの順で考えていきます。

まず、導入場面の指名計画の立て方です。多くの場合、前時の学習を振り返りながら、本時の学習のめあてに結びつけていきます。そこでは、前時の終末場面でノートなどに記述された内容を活用することができます。

事前に目を通すことによって、誰がどのような内容を記述しているかを把握することができます。それをもとに本時の導入場面で誰と誰にノートを読ませるかを計画することができます。前時の終末で「残された課題」を記述させておくと、本時の授業につなげることができます。

次に、展開場面における指名計画についてです。ここでは、教材や資料を提示し、発問や指示をしなが読み取りなどの活動が行われます。そのため誰がどのように反応するかを事前に予

測することは困難です。

ここでは、その場で子ども一人一人の学習状況を観察し、瞬時に指名計画を立てることが求められます。具体的には、子どもの表情やふるまいを観察し、つぶやきに耳を傾けます。ノートなどにまとめる作業を取り入れたときには、短い時間ですが、できるだけ多くの子どもの記述内容を把握するよう努めます。教師の子どもを観察する力はもとより、日ごろから一人一人のものの見方や考え方の傾向性など、子ども理解を深めておきたいものです。

そこでは、子どもたちの学習状況を捉えながら、その場で指名計画を立てます。子ども理解と指名計画を立てる行為が一体的に行われます。事前に計画しておくことができませんから、授業者の授業展開力が問われます。

最後は、まとめる場面の指名計画です。多くの授業では、学習成果をノートなどに記述する活動が取り入れられています。机間指導しながら、誰がどのような内容を記述しているかを把握することができます。その場で、誰と誰を示して本時の学習内容を確認させるのか、誰を指名して次の時間につなげるのかをその場で計画します。

このように「指名計画」を立てることは、授業の深まりや発展と一体の関係にある、教師の重要な行為です。

校外学習で突然の雨

公園で校外学習を行っていたときのことです。突然雨が激しく降ってきました。子どもたちは雨具を持っていません。どのように対処したらよいのでしょうか。

雨が降りだしたことに気づいた段階で、子どもたちを集め、近くの建物に避難させます。そのとき、帽子やハンカチ、シートなどで頭を覆うよう指示します。濡れては困るものは鞆などに仕ませます。移動するときには、滑って転ばないように十分注意させます。洋服が濡れた子どもには、体が冷えないようにします。

子どもたちを落ち着かせることにも配慮します。学校に連絡して、必要に応じて援助を求めます。学校にいる管理職は気象の変化や事態の状況を察知して、支援の行動をとります。

こうした事態に遭遇しないようにするには、空模様の変化に細心の注意を払い、不安を察知したときには、早めに避難する行動をとることが重要です。危機管理意識をもって、子どもたちの引率に当たるのが求められます。

天気予報で雨の心配がないと報道された場合でも、近年の気象状況は局地的に激しく変化することがありますから、雨具を用意しておくといでしょう。天気予報によっては、校外学習の実施そのものを中止したり延期したりする判断も求められます。



教育の動向

「自らの命は自らが守る」

昨年の「7月豪雨」では、14府県で死者・行方不明者が200名を超える大惨事になりました。西日本豪雨を踏まえて、政府の中央防災会議は、災害時の避難のあり方について検討を行い、報告書を公表しました。

これによると「行政主導の取組を改善することにより防災対策を強化する」という従来の考え方を見なおし、住民が「自らの命は自らが守る」意識をもって自らの判断で避難行動をとり、それを行政が支えるという、住民主体の取り組みを重視しています。これはあらゆる自然災害に言えることです。

そのためには「子供のころから地域の災害リスク等を知り、命を守る行動（避難）を実践的に学ぶことが重要である」と、学校における防災教育の充実を求めています。

また「単にハザードマップを見るだけでなく、災害で何が起きるのか、もし避難しなければどういった悲惨な状況になるのか理解することが重要である」とし、水害や土砂災害のリスクのあるすべての小・中学校に「毎年、梅雨や台風の時期を迎える前までを目途に避難訓練と合わせ防災教育を実施する体制を構築する」としています。

6月は土砂災害防止月間です。そのうち、1日から7日まではがけ崩れ防災週間です。地域の実態に根ざした防災教育の一層の充実が求められます。



「思考力・判断力・表現力」の

指導と評価

その8

育て方② 知識や技能を活用して

思考したり判断したりする行為や表現する活動は、それだけが単独に行われるわけではありません。思考するという活動は知識や技能の活用と一体に展開されます。そのため、子どもたちに思考させるには、そのために必要となる知識や技能を事前に習得させておく必要があります。また、知識や技能を習得する過程において、思考・判断したり表現したりする活動が位置づけられることもあります。いずれにおいても、思考、判断、表現する活動は単独に行われるのではなく、学習内容と深く関わりながら展開されます。

授業に当たっては、何について考えるのか(目的や課題)、何をもとに考えるのか(内容)、どのように考えるのか(方法)など、考える活動を成立させる

る要素を明確にします。

目的や内容が曖昧なままに考えさせると、思考が焦点化せず、はい回ってしまうことがあります。根拠や理由のない、思いつきが先行します。これでは説得力もなく、思考も深まっていきません。結果として思考力が育ちません。このことは、判断力や表現力についても言えます。学習内容を身につけていないと、思考したり判断したりする活動が成立しません。表現する内容を身につけず、自分の考えをもっていなければ、そもそも表現活動は成立しません。

子どもたちに思考、判断、表現させるには、そのために必要な知識や技能を身につけるとともに、それらを活用して問題解決する場面を設定します。思考力、判断力、表現力は問題を解決する際に発揮される能力だからです。

INFORMATION

豊富なラインナップ! 移行措置対応 **ぶんけいの選べる夏休み教材**

おススメ! 4教科 1~6年



充実の付録

- 見やすい3色刷り縮刷解答
- まとめのテスト(国・算)2枚
- わくわく夏休み(予定表・日記)
- 読書感想文の書き方(1~6年)
- 英語の学習シート(5・6年)
- 移行措置対応 追加漢字の練習シート(4年)

4教科の前学年までの復習をプラス

ぶんけいの夏休み教材

検索

1~6年

4教科



2教科



2教科



問題量、教科を児童やクラスの実態に合わせて選べる

編集後記

今月号の「指名計画」に関連して、124号では「子どもの相互指名」について解説いただいています。今回は指名について、さらに深く掘り下げていただきました。学びを深める発問をどう仕掛けるか。ここに教師の醍醐味が感じられます。(K記)



ぶんけい

企画・編集：ぶんけい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2019年6月1日